

～尾原ダムにおける上下交流・活性化の取り組み～

「つなげよう、育てよう、活かそう さくらおろち湖」



尾原ダム完成10周年記念

NPO法人さくらおろち

特定非営利活動法人 さくらおろち

設立 2011(平成23年)年 3月
住所 島根県雲南市木次町平田36-1
代表者 理事長 亀山 一敏
会員 正会員 26名 賛助会員 1名
☎ 0854-48-9050
Mail katuyoukyou@yahoo.co.jp

法人設立から現在まで

(尾原ダム地域づくり推進連絡協議会)

⇒ 非特定営利法人 さくらおろち 設立

2011(平成23年)年3月

⇒ 尾原ダム(さくらおろち湖) 完成

2012(平成24年)年3月

⇒ 一般財団法人「日本ダム協会」より、ダム建設功績者表彰
(ダムの上下流交流の推進・活性化)

2017(平成29年)年11月

⇒ 河川協力団体に指定

2018(平成30年)年3月

⇒ 公益社団法人「日本河川協会」より、河川功労者表彰
(ダムの上下流交流の推進・まちづくり・社会教育スポーツ
振興・環境保全・ダム水源地域の活性化)

2022(令和4年)年6月



尾原ダム建設の経緯

(昭和35～36年頃から計画が浮上)

- | | |
|----------|---|
| 昭和47年 7月 | 宍道湖大水害が発生
梅雨前線により松江市を中心に斐伊川(宍道湖)流域に
激甚が発生 |
| 昭和50年10月 | 島根県「斐伊川・神戸川の治水に関する基本計画発表
(島根県政100年の大計) |
| 平成 3年10月 | 地元2町(木次町・仁多町)3組織
尾原ダム建設事業に伴う基本協定書に調印 |
| 平成 5年12月 | 水源地域対策特別措置法によるダムに指定 |
| 平成 8年 2月 | 水源地域対策特別措置法による水源地域に指定 |
| 平成14年 4月 | 斐伊川水系河川整備方針を策定 |
| 平成17年 3月 | 「地域に開かれたダム」整備計画を国土交通省から認定 |
| 平成18年 6月 | 尾原ダム本体工事に着手 |
| 平成24年 3月 | 尾原ダム完成(国土交通省直轄ダム) |
| 平成25年 9月 | 「尾原ダム水源地域ビジョン」策定(現在次期ビジョン作成中) |

尾原ダムとは

国土交通省直轄ダムであり、一級河川斐伊川上流に建設されたダム

【目的】 (1)洪水調節

(2)河川環境の保全
(下流域への農業用水の供給を含む)

(3)水道用水の供給



島根県庁前（昭和47年7月）

宍道湖大洪水時の松江市内の状況写真



かなり水位が下がり市民が動き始めた頃の市街地

宍道湖大洪水時の松江市内の状況写真

事業の進め方

斐伊川水系河川整備計画による整備概略工程（概ね20年間）



斐伊川・神戸川治水計画図

尾原ダム 水源地域ビジョン

概要版

つなげよう、育てよう、活かそう
“さくらおろち湖”



平成25年9月
尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会

尾原ダム水源地域ビジョン

【さくらおろち湖とは】

尾原ダム建設に伴ってできた湖の名称

「さくら」: 雲南市の市花

「オロチ」: 斐伊川を舞台として描かれている古事記に出てくる
「八俣のオロチ退治」伝説の「おろち」

※自然との共生を創りあげるのが「さくらおろち湖」であり、
命と生活を創りあげ神話の世界「おろち」と「スサノオ命」の
故郷の尾原ダム(さくらおろち湖)

【地域に開かれたダム(上下交流の推進)が目指す主な活動】

- 1 水源地域を結び、拓く
 - ①企業との連携(CSR活動)

- 2 流域圏の恵みの源を守り、育む
 - ①ビューポイントの発掘・活用

- 3 さくらおろちの魅力を磨き、活かす
 - ①尾原ダムの魅力の発掘
 - ②日本一プロジェクト
 - ③農村体験施設の利用促進
 - ④街道・登山道の活用
 - ⑤郷土料理の継承・活用
 - ⑥さくらおろち湖祭りの開催
 - ⑦イベントの企画・立案

■ 主な活動内容

企業との連携（CSR活動）



- 尾原ダムでのCSR活動には、年2回（7月は3日間、9月は2日間※コロナ対策のため分散開催）下流域の松江市、出雲市なども含め多くの参加者を得て実施
- 平成24年9月から通算10回以上参加した企業・団体を対象に、10月開催のさくらおろち湖祭りにて感謝状を贈呈。参加企業の実績にもなっている。
- コロナ禍により、周辺施設が一時閉鎖や来客数減少。救済策としてNPOが費用を負担し、企業CSR参加者へ周辺施設で使用できる割引チケット（1ヶ月有効）を配布。

■主な活動内容

ビューポイントの発掘・活用



大賞作品「おろちの灯り」



受賞者表彰の様子

尾原ダム完成10周年記念
第8回さくらおろち湖写真コンテスト

作品募集中

第7回写真コンテスト入賞作品
さくらおろち湖大賞/湖上のポート

応募期限 2022年9月16日(金) 必着
テーマ 『あなたが見つけた四季の魅力』

美しい自然や残したい風景だけでなく、前にも知られていないとっておきのスポットや地域の暮らしなど、四季を通し魅力に富んだ、あなただけのさくらおろち湖のベストショットを募集します。

【各賞】
【さくらおろち湖大賞】
【出雲河川事務所長賞】
【雲南県土整備事務所賞】
【雲南市長賞】
【雲出雲町長賞】
【写真コンテスト実行委員長賞】
【Instagram賞】
【高校部門賞】
【入選】 数点
それぞれに副賞があります！

雲南県土整備事務所長賞
出雲河川事務所長賞
東行委員長賞
鳥出雲町長賞
Instagram賞
雲南市長賞

応募方法 裏面をご確認ください。
【主催】さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会 【共催】さくらおろち湖活性化ネットワーク会議
【後援】国土交通省出雲河川事務所、島根県雲南県土整備事務所、雲南市、鳥出雲町、鳥根県高等学校文化連盟

【お問合せ先】NPO法人さくらおろち内 さくらおろち湖写真コンテスト事務局 ☎ 0854-48-9050

- ・ 「さくらおろち湖写真コンテスト」を今年度で8回開催中
- ・ テーマは『あなたが見つけた四季の魅力』
- ・ 継続することによって、作品のレベルが向上

■ 主な活動内容

尾原ダムの魅力発掘



尾原ダム クレスト点検放流 YouTubeでライブ配信決定!

1年に1度実施される尾原ダムクレストゲート点検放流の様子を多くの方に見ていただきたいことから、今回もYouTubeでライブ配信することになりました。当日はドローンからの映像や特派員による映像などライブ配信でしか味わえない、想像した通りの放流の様子をお楽しみください。ぜひお手持ちのデバイスでクレスト放流をご覧ください。

特別見学会 参加者募集
午前100名 午後100名

2022年
日時 3月5日 土 10:00~15:30

当日限定特典あり!
直前直在任の方限定で事前申込により、先着200名(午前100名・午後100名)の間に「特別見学会」特別見学会参加券を募集します。特別見学会はダム本体下よりクレスト点検放流を見ることが出来ます。

募集要項
募集期間: 2月14日(月) (定員に達した時点で締め切らせていただきます)
申込方法: 郵送、FAX、メールのいずれかでお申し込みください
申込料: 無料
申込先: 尾原ダム 特別見学会事務局 (〒719-0201 尾原市 尾原町 尾原ダム管理支所 2階)
〒719-0201 尾原市 尾原町 尾原ダム管理支所 2階
TEL: 0854-48-9050
Eメール: katsuyoukyu@yahoo.co.jp

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「特別見学会」の参加者を限定しています。趣旨をご理解いただき、「特別見学会」参加者以外の来場はお控えください。

お問い合わせ
ライブ配信・特別見学会に関する問い合わせ: NPO法人さくらおろち TEL:0854-48-9050(当日は、TEL:080-6349-0900)
クレスト点検放流に関する問い合わせ: 国土交通省出雲川事務所尾原ダム管理支所 TEL:0854-48-9780

- 毎年3月の第1土曜日に実施される尾原ダムにて年1度の点検放流に併せ『クレスト放流イベント』を実施。
- コロナ禍前は全国から1500人が来場
- 国、県、市、町やNPO法人さくらおろちなど周辺団体が協力し実施
- コロナ禍により、令和2年度からは全国にYouTubeでライブ配信を実施

■ 主な活動内容

日本一プロジェクト



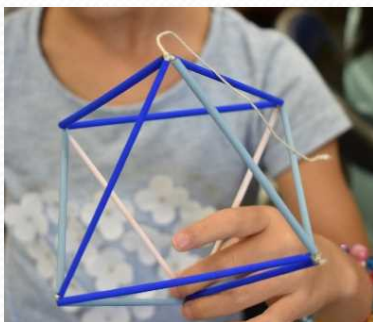
- 地域の保育園において「出前講習会」を開催。
自転車競技人口の拡大と未就学児の体力向上を図っており、
保育園からの評判もよい。
- 大人用ランバイクも導入。

■ 主な活動内容

農村体験施設の利用促進

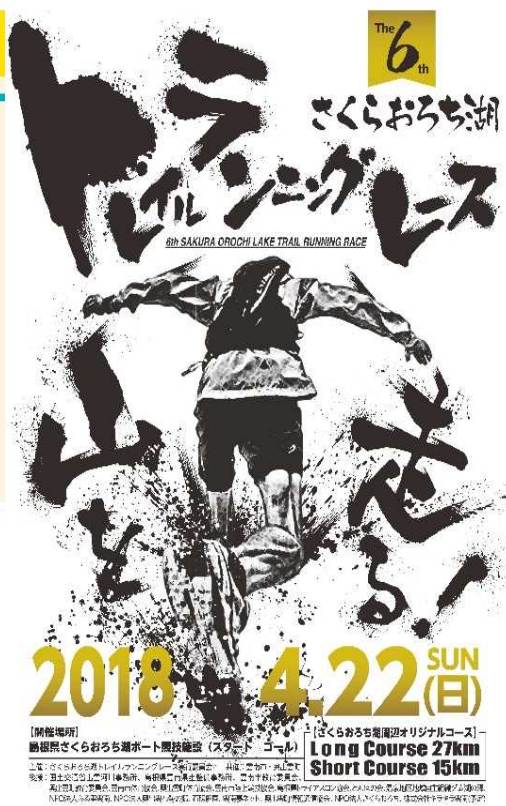


- 夏休み中に宍道湖のヨシを使った壁作り、ヒンメリ作り（ヨシ工作）、ランタン作りなどの体験に加え、尾原ダムの見学、島根県環境保健公社による川の生き物調査などを実施する「尾原ダム探検ツアー」を開催



■ 主な活動内容

街道・登山道の活用



- トレイルランニングレース：春に開催（近年はコロナ禍で開催中止）
今年度は規模を縮小して開催予定
- 過去のゲストランナー眞船孝道氏によるWeb講演会を開催

■ 主な活動内容

郷土料理の継承・活用



- 平成30年3月ダムにほど近い槻之屋地区にイノシシ肉加工施設が完成
有害鳥獣対策に役立っている。
- イノシシ肉を加工販売|ターン若者事業者の参入があり。ソーセージの加工
やキッチンカーで猪料理の販売を行う。
- NPO法人ふる里雲南が経営する道の駅「おろちの里」農家レストラン
にて地元野菜等を活用した郷土料理とイノシシ肉料理を提供している

■ 主な活動内容

さくらおろち湖祭りの開催



- 3年ぶりの開催で、**3,500人が来場**
- 神楽舞などステージイベントや凧揚げ・缶バッチづくり・レンタサイクル・働く車の展示など様々な催しを実施

2022 10th ANNIVERSARY 尾原ダム完成10周年記念

令和4年 **10/16日** 10:00 - 15:00

さくらおろち湖 ポート競技施設

ステージイベント

会場周辺の催し

10th ANNIVERSARY 尾原ダム完成 10周年記念の集い

演奏 三刀屋高等学校 吹奏楽部

写真コンテスト 入賞作品 展示

照明車・除雪車・消防車・パトカー展示

たこあげ

YES!!

馬との 出会い体験

ランニング バイク体験

ぐるっと さくらおろち湖 レンタサイクル

ON!!

缶バッチづくり

牛とのふれあい体験 バター作り体験

神楽 権之屋神楽保持者会

当日は会場周辺を周遊バスが運行します

後援 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、島根県雲南県土整備事務所、雲南市、奥出雲町
 協力 ダムの見える牧場、公益財団法人 奥出雲多根自然博物館、さくらおろち湖、瀬キラキラ雲南、一般社団法人 雲南市観光協会、西日本旅客鉄道株本木次鉄道部、ミズベリング様
 主催 さくらおろち湖祭り実行委員会 (とんぼの会、温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、NPO法人奥出雲布勢の郷、NPO法人さくらおろち)

※このイベントは「水の緑地推進事業」の一環として実施しています。※時間・場所・問合せなどの詳細は裏面をご覧ください。また、荒天等により種々のプログラムは中止・内容を変更する場合があります。

■ 主な活動内容

イベントの企画・立案



- 国、県、市、町、NPO法人さくらおろち、地域住民で構成する実行委員会で実施
- 記念ロゴマークの作成68点(県内25点、県外43点)の公募作品から選定
- 尾原ダム完成10周年記念の集い開催
～地域とともに10年、そしてこれからも～
(さくらおろち湖祭りと同時開催)
- 松江市堀川遊覧船の運行
- 尾原ダム建設前の発掘調査で出土した文化財の展示
- 記念動画の作成



■ 主な活動内容

イベントの企画・立案

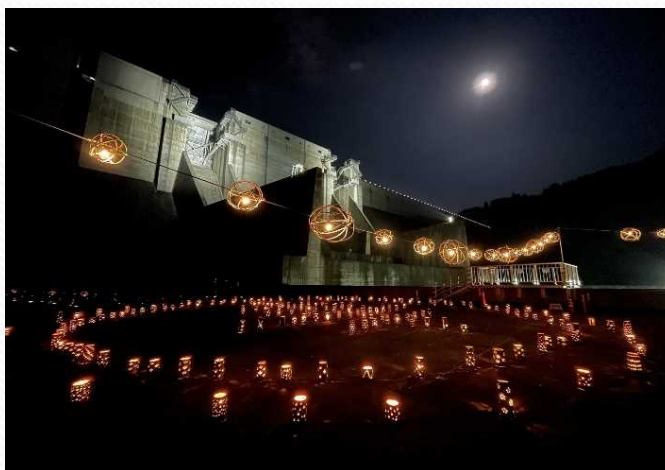


- トライアスロン大会の開催
- 9月初旬に開催（コロナ禍により規模を縮小）
- 県内外多数参加
- 通常はスイム1.5km・バイク40km・ラン10km（オリンピックと同様の51.5km）の過酷なコース



■ 主な活動内容

イベントの企画・立案



- さくらおろち湖魅力発見ツーリズムの開催（旧名：さくらおろち湖FUNまつり）
- 季節ごとに一定期間行う小規模で多彩な体験交流プログラムの集合体。“1回100人の団体よりも、1人が100回の来訪を”がコンセプト。
- さくらおろち湖活性化ネットワーク会議に所属する活動団体・地域住民が企画。
- 牛になって年賀状写真を撮ろう、夜の尾原ダム見学会、キャンプ体験、トレイルワーク、椎茸の植菌、ツリークライミングなどが開催された。

■トピック①

「水辺で乾杯」の実施



■トピック②

伐採した竹や笹を活用した交流活動



- 森林の整備・管理の一環として、尾原ダム周辺に生育する竹・笹などを伐採
- 竹を使った体験活動（ランタン・竹筒ごはん）を企画
- 地域の保育園（13園）へ七夕の笹をプレゼント

■トピック③

遠足ウイーク

雲南市をはじめ斐伊川流域の保育所・幼稚園に対し、尾原ダムへの遠足を勧誘（誘致期間：9月初旬）



- ダム見学、乗馬体験、乳牛とのふれあい、恐竜博物館見学、芝生での自由遊び、ハイキング、バター作り体験、ボートクルージング、ランバイク体験などを実施。
- 出雲市から5日間で5園が遠足を行う。
- コロナ禍で島根県からバス利用の助成や人口が少ない地域だからこそ感染リスクが低いことから、多数の問合せがあり。



■トピック④

植樹

尾原ダム周辺にさくらの記念植樹、楓や紅葉の植栽



◀ 国土緑化推進機構
緑の募金 植樹



▲ 桜の記念植樹



◀ 島根県企業局
楓植樹

■トピック⑤

県民参加の森づくり事業「みーもスクール」

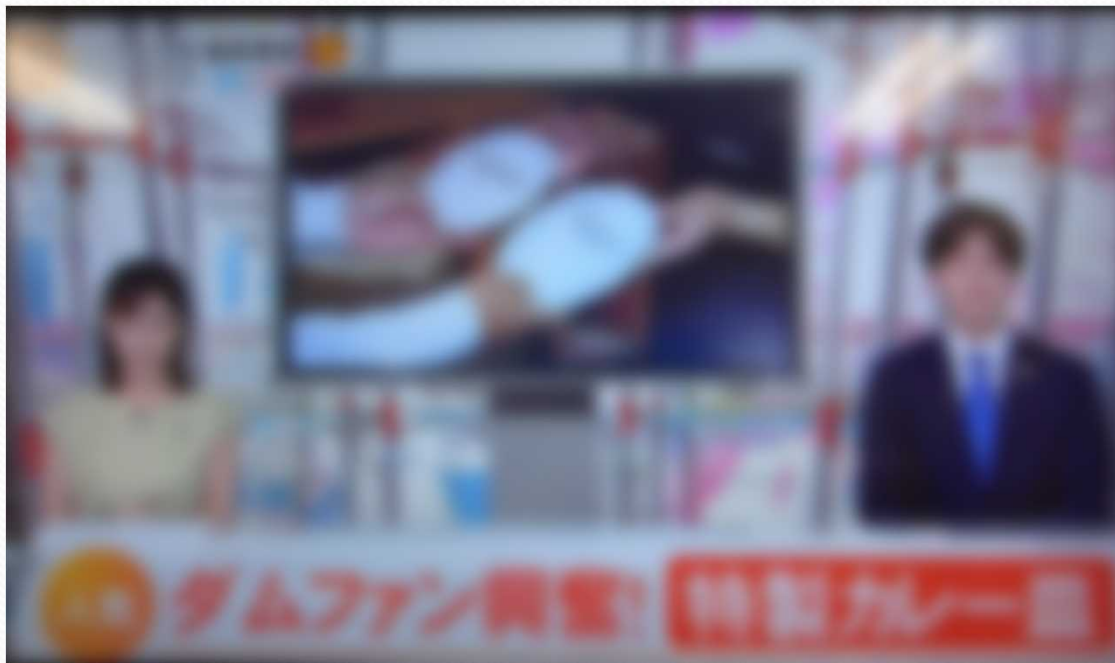


- 斐伊川流域の小学校（毎年：4校各3回）で「楽しみながら島根の森林の現状を学ぶ」ことを目的に授業を行っている（防災・水源涵養・環境保全）
- 授業のテーマは人工林、竹林、雑木林、里山。



■トピックス⑥

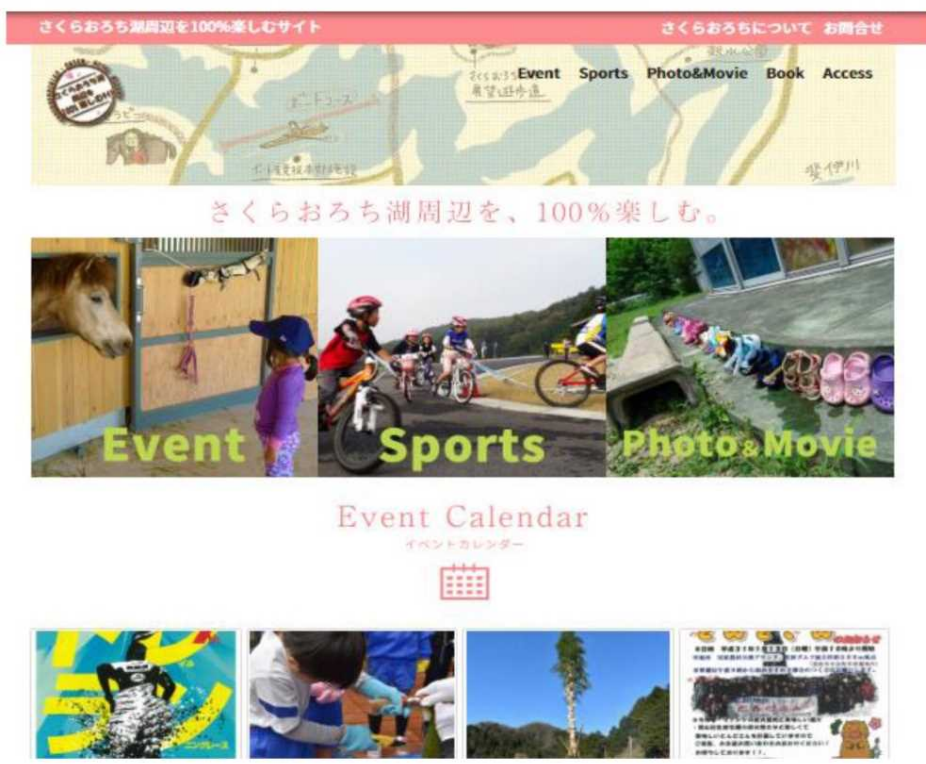
尾原ダムグッズの販売



- 尾原ダムを模したカレー皿を「道の駅おろちの里」にて販売中。
（皿は陶芸を趣味としている作家に作成を依頼）
- 手づくり感が時代のニーズにマッチした。
- 地元報道機関から取材申し込みがあり、テレビ撮影に協力した松江市の飲食店（もと家）では改良したカレー皿で「尾原ダムカレー」を提供。企業CSR活動に参加してもらうなど繋がりが生まれた。

■トピックス⑦

ホームページ等を使った情報発信



さくらおろち湖周辺を、100%楽しむサイト
<http://sakura-orochi.jp/>



水の縁による新たな出雲の国づくり
<https://mizunoenishi.net/>